

高瀬神社 社報

越中一宮



越中一宮

Ecchu ichinomiya Takase Shrine

高瀬神社 第16号

南砺市高瀬291 <http://www.takase.or.jp>

平成20年1月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏



年頭講話

「新年の夢」

宮司 藤井秀弘

春の芽吹き、草花が咲き蝶や

蜂が蜜を求めて飛び交い、彼方の山間から雲の湧き出でるように飛び交う渡り鳥たちいずこへか去り一時の静に心を癒す。晩春の空は雲にお、われて一粒一粒と雨が新緑を洗い始める。人々は空を眺めながら一言一言とさ、やく。季節の移り変りは早く、時々雲の切れ間から夏の日射が田面にさしこむ。水田の稲は光を受けてすすくと伸びる。田面を高く低くつばめが飛び交う。いつのまにか夕暮の森に鯛の鳴く、そうしていつのまにか草むらから秋の虫が交響曲をかなでる。暦は休むことを知らず霜月と共に虫たちは旅立ち替りに北風が虎落笛を吹く。時々冬將軍の訪れに紫の火柱が地上をつき刺す

雷鳴が里山に訝する。

すばらしい大自然の中の移り変りがはつきりしているすばらしい国、日本に生れたことを神々に感謝し、父母にありがとうございますと自分の現在に感謝すると共に、神々に現在生かされている喜びを日々申し上げて生かされていることをかみしめ感謝すべきであろう。

このすばらしい自然の移り変りを神職のみならず人は心の目でこの自然を見る感性を持つことが大切でなかるうか。人以外の動植物はこのすばらしい自然の中でどのように生きてゆくべきかを敏捷に把握し生きて来ている。

神社の森を住みかとする鳥たちは地震の予知をすることがで

きるようである。また、野山を走りまわる動物は山野の火災を予知し安全な所に身を隠すことを知っている。それなら人はどうだろうか。災害が過ぎてからその災を知り二度と同じ結果にならぬように云いながら同じことを繰り返すなせだろうか。

科学的とか誰れかがと云うことに頼りすぎているのではと思うことが人の世には多すぎるのではと思う。自然の中で生かされているのだから自然の移り変りを学ぶことが人には大切ではないだろうか。理屈を述べ、弁解によって常に自分の正統性を主張すると幸福や安全性はどこかへ行つて反省する事だけが残ることにならう。

先に述べたように自然から学ぶことが人が幸をつかむことを知ってほしい。新しい年は過ぎ去った年と同じであつては幸をつかむことはできぬ。どのような小さなことでも心の目でしっかりと見て生かされて幸をつかむことが新しい年への夢である。

謹賀新年

平成二十(戊子)年
皇紀二六六八年

宮司 藤井 秀弘

権宮司 藤井 秀嗣

禰 宜 齊藤 直己

全 河合 正登

権禰宜 浦 泰宏

巫女 玉井 千里

全 杉本絵里香

全 南部 有希

事務員 黒田三津子

囃 託 岩倉 友子





「新年のご挨拶」

奉賛会長 西田 東作

明けましておめでとうございます。平成二十年の年頭にあたり謹んで皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

私は仕事の都合で何時も東京中心の生活をしておりますが、富山にいるときに比べ事件や事故を見聞きすることが多いように感じられます。最近では東京に限らず、全国各地で善悪関係なく、様々なことが起こっています。このような変化の速い、激動の世の中に暮らしておりますと、身の回りに次々と起こる変化に対応するのが精一杯になって、物事をじっくりと落ち着いて考える暇もないような有様です。

昨年、渋谷区内で起きた温泉施設の爆発事故は、私の勤務する東京本社のご近所で発生しました。また、食品業界では有名な『吉兆』や『赤福』などの伝統や格式ある老舗が考えられない事件を起こしました。そ

の後もこれに類似したことが頻発しているのは残念なことです。

わが国はいつたいどうなってしまうのでしょうか。世の中はグローバルゼーションによって、変化するのは当たり前に移り変わって行きますが、「真心」とか「誠意」という日本人が本来持っている麗しい心まで変化してしまつたのでしょうか。そんな中で富山に帰り、高瀬神社にお参りするとすっきり気持ちが落ち着いて何ともいわれない、有難い心の安らぎを戴きます。

江戸時代の俳人「松尾芭蕉」は俳諧の真髄を「不易流行」という言葉で表しました。不易は詩の基本である永遠性をいい、流行はその時々々の新風の体を指します。共に風雅の誠から出るものであるから、根元においてはひとつであるということです。このように考えれば、昨今の変化の

激しい世の中にあつても、遠い祖先から受け継いできた私たち日本人の麗しい心は永遠に持ち続けなければならぬし、また、神社も不変の存在であつてほしいと思つてあります。

宮司さんが何時も話される自然の営みに学び、小さい時から教わつてきた、先生や親の教えを忠実に実行して行く事が総ての基本であり、これを実行することによって本来の日本人らしい世の中に戻っていくのではないかと思います。その教えを身をもって示しておられる宮司さんこそ、我々が見習うべき手本であると常々感服致しております。今年も社頭講話や本誌紙面等々で皆様と共にご指導戴いて、新しい年を明るく、希望に満ちた年にしたいと考えております。

また、今年は伊勢の神宮「第六十二回式年遷宮」ご奉賛三年目の年を迎え、愈々、本格的な募財活動を始めなければならぬ大事な年となりました。その役割を果たすべく精励致す所存であります。皆様方の更なるご協力を宜しくお願い申し上げます。そして、年頭のご挨拶と致します。

(株式会社ゴールドウイン会長)

祭事暦

《平成二十年》

一月 一日	歳旦祭
一月 三日	元始祭
一月 七日	昭和天皇祭
一月 二十五日	天神祭
二月 三日	節分祭
二月 十一日	紀元節祭
二月 十七日	祈年祭
三月 八日	鎮火祭
三月 二十日	春季皇霊祭
四月 三日	神武天皇祭
四月 十日	春季祭
四月 二十九日	昭和祭
六月 十一日	祈年穀祭
六月 十九日	風宮例祭
六月 三十日	夏越大祓
七月 二十三日	稲荷社例祭
七月 吉日	除熱祭
七月 十六日	人形感謝祭
八月 十三日	中禮祭
九月 十三日	例祭
九月 十七日	秋季皇霊祭
十月 吉日	神嘗奉祝祭
十月 吉日	献茶祭
十月 三日	村まつり
十一月 十三日	明治節祭
十一月 十五日	神明宮例祭
十一月 二十三日	七五三祝祭
十二月 二十三日	新嘗祭
十二月 三十一日	天長節祭
	師走大祓
	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭
◎毎月十三日 交通安全祈願祭

祭事録

例祭

去る九月十三日午前十時より、例祭が斎行されました。

宮司祝詞奏上、巫女の「浦安の舞」につづき、氏子・崇敬者一同により「高瀬神社奉賛歌」が奉唱されました。

御本社につづき午前十一時より、遺族会一二〇名参列のもと功霊殿例祭も斎行され、「井波松風会」の吟詠奉納も行われました。参列者一同、御英霊に感謝の誠心を奉げ拝礼しました。

祭典終了後、神社に御尽力いただきました二名の方に宮司より感謝状が授与されました。
(感謝状授与)

池田由美子(砺波市)
松本 昌子(南砺市)



献茶祭

去る十月二十八日午前十一時より「第三十四回献茶式」が斎行されました。

宮司の祝詞奏上につづき、表千家流 城宝義光氏のお点前により、ご神前に濃茶・薄茶が供えられました。



齋館と参集殿では「高神社献茶奉賛会」により、薄茶席(表千家流 橋爪孝仙社中)・煎茶席(鳳凰煎茶礼式 橋爪孝仙社中)・点心席(表千家流 橋爪孝仙社中)が設けられ、多くの茶道愛好家で社頭は終日賑わいました。



(写真提供) 野島武志

新嘗祭

収穫感謝の「新嘗祭」が、

去る十一月二十三日午前十一時より、氏子・崇敬者また農協関係者約六十名の参列により斎行されました。



村上勝則福光農業協同組合長が奉幣使を務め、砺波地区農業協同組合協議会から幣帛が供えられました。また、井波地域中核農業士協議会(片田功会長)により、献穀田で収穫された「コシヒカリ」と「白酒」が供えられました。

篤農家には表彰状、献穀田奉耕者には感謝状が贈られました。
(篤農家表彰)

中道 秀男(南砺市)
広川幸八郎(南砺市)
(感謝状授与)

池田 善昭(南砺市)

迎春

株式会社ゴールドウイン
代表取締役会長 西田 東作

セندان電子(株)

代表取締役会長 武田 修
代表取締役社長 武田 武美
砺波市庄川町五ヶ四四〇
TEL(〇七六三) 八二一五一三〇

祝儀料理 鮮魚・仕出し **福光屋**

南砺市山見一七二〇
TEL(〇七六三) 八二一五〇八二(アスマモ店)
TEL(〇七六三) 八二一〇七〇六(在出し部)

越中一宮高瀬神社指定 **南部スタジオ**

南砺市山下二七
TEL(〇七六三) 八二一〇一三〇
富山店 富山市五福六区一八四五一六
TEL(〇七六三) 四三二一八五五

宝石・記念品 **あづちや**

南砺市本町三十四八
TEL(〇七六三) 八二一〇三六六

剣道大会

九月十七日、「第四十五回奉納剣道大会」が開催されました。奉告祭につづき、外拝殿では前年度優勝校の井波中学校の生徒により「日本剣道形」が奉納されました。

天候にも恵まれ、団体・個人のトーナメントが執り行われ、約二〇〇名の剣士により熱戦が繰り広げられました。尚、試合結果は次の通りです。

《団体の部》

▽小学生男・女

- ①井波剣道スポーツ少年団
- ②福野剣道スポーツ少年団

▽中学生男子

- ①井波中学校
- ②福野中学校
- ③出町中学校

▽中学生女子

- ①出町中学校
- ②庄西中学校

《個人の部》

▽小学生男子

- ①神田 佳典 (井波)
- ②岩崎 大成 (砺波)
- ③吉田 康生 (福野)
- 川口 穂高 (B&G)

▽小学生女子

- ①藤崎美奈里 (井波)



▽中学生男子

- ①洲崎 貴史 (井波中)
- ②野島慎太郎 (出町中)
- ③柴田 大地 (出町中)
- 齊藤 哲 (井波中)

▽中学生女子

- ①山田千菜都 (井波中)
- ②小西 真実 (福光中)
- ③松山 佳苗 (庄川中)
- 中川 絵理 (出町中)

▽高校生男子

- ①川合 正樹 (福野高)
- ②長井 拓野 (井波高)
- ③川淵 貴人 (砺波高)
- 石本 俊貴 (福野高)

▽高校生女子

- ①稲垣 葉子 (砺波高)
- ②松山 香織 (砺波高)
- ③中本 梨絵 (福野高)
- 森田 絵美 (福野高)

さといも茶会

去る十二月二日、高瀬遺跡保存協会(横山豊介会長)主催の「里芋おはぎ茶会」が開催されました。

「里芋おはぎを作る会」により、収穫されたばかりのサトイモもち米を一緒に炊いて、あんこをつけた「おはぎ」約五〇〇個が作られました。

また、斎館と参集殿では井波茶道同好会によるお点前による茶席が設けられました。



(写真提供) 井波歴史民俗資料館

迎春

婚礼着付

ノビアデサロンみたに

南砺市北川一八五二
TEL(〇七六三)八一〇四三三

巻御所落雁本舗

河内屋菓子舗

南砺市本町一の三四
TEL(〇七六三)八一〇四〇二

ブライダルサロン

アマノ

高岡市大手町二一八(定塚町通り)
TEL(〇七六六)二四一四二四

株林クリーニング

南砺市本町三丁目一四番地
TEL(〇七六三)八一〇二八九

全国にあなたの花をお届けします
花キューピット

ミナミフラワーショップ

アミ子店 TEL(〇七六三)一三二六三八八
FAX(〇七六三)一三二六三八八

献穀田だより

抜穂祭

去る九月二十四日、井波地域中核農業士協議会（会長片田功氏）による「抜穂祭」が、本年奉耕者の池田善昭氏の水田で斎行されました。

四名の早乙女（澤田沙来さん、植生真央さん、前川朱里さん、林美咲さん）により、豊かに実った「コシヒカリ」の稲が刈り取られ、片田会長より斎主に手渡されました。

十一月二十三日の新嘗祭で御神前にお供えされました。



初穂曳奉仕

「第三十六回初穂曳」が十月十五日、三重県伊勢市で行われ、井波地域中核農業士協議会の片田功会長・斎藤幸範氏・浦権禰宜の三名が参加し、献穀田で収穫した「コシヒカリ」の稲束を伊勢の神宮へ納めました。



天候に恵まれ、「一日神領民」として神恩感謝と更なる五穀豊穰をお祈りしました。

また、前日には二見興玉神社を参拝し、神宮御園を見学いたしました。

「福寿箸」

「福寿箸」

去る十月一日より、高岡市と射水市を走る「万葉線」に、昨今の殺伐とした世の中を少しでも明るく幸せな世の中にしたと願い、車輛にペイントを施した「ころほんわか 幸せ電車」という、見るだけでも心安らぐ電車を運行することとなりました。

出発式では安全運行を願い、運転手に「御守」が手渡され、始発電車に乗車した乗客には、記念として「福寿箸」が巫女より授与されました。



迎春

田島のし店

砺波市本町七一四
TEL (〇七六三) 三三一二五二〇

菓子工房 大 樹

砺波市宮丸二二二一
TEL (〇七六三) 三三一三九六六

牧印刷株式会社

南砺市理休三三三二一
TEL 〇七六三二一六二一〇一二二
FAX 〇七六三二一六二一三三八三三

(株)ジオミックス

広告事業部 P R プランニング
小矢部市下中一三三八
TEL (〇七六六) 六七七一八六六七

看板とイベント・宣伝の オーバル

砺波市庄川町金屋二二〇五
TEL (〇七六三) 八二四二二二二

参 拜 日 誌 抄

(敬称略)

(平成十九年九月～十二月)

「九月」

一日

普明会教団福野支部

三日

明治神宮

宮司 中島精太郎

明治神宮崇敬会

理事長代理 男成洋三

四日

功霊殿奉斎会役員会

七日

藤沢地区神社連合会

代表 小林勇以下三十九名

十日

南砺市遺族会井波支部

(清掃奉仕)

南砺市遺族会福野支部

(清掃奉仕)

十一日

氏子清掃奉仕(村総出)

十二日

日枝神社

宮司 平尾旨明

十七日

第四十五回奉納剣道大会

(奉告祭)

十八日

山梨県神社庁

理事 植松 眞生

理事 桃井 一祝

神社庁砺波支部役員

二十一日

南砺市交通安全協会

(秋の交通安全祈願祭)

「十月」

二日

普明会教団福野支部

三日

江北氷川神社氏子総代会

宮司 八木富美子

以下五十四名

十二日

立正佼成会(清掃奉仕)

十七日

吉川地区神社総代会

芳川神社宮司 戸張滉

以下二十二名

二十二日

志波彦神社鹽竈神社

権禰宜 村上恵一

二十三日

久能山東照宮

宮司 落合偉洲

以下三十八名

二十八日

普明会教団高岡支部

三十日

神社庁砺波支部

(神宮大麻頒布始奉告祭)

山梨県神社庁東八代支部

「十一月」

十二日

普明会教団福野支部

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

高瀬神社崇敬会栃木支部

藤井直和

齊藤隆夫

石島久司

十六日

國學院大學

事務局長 大村秀司

國學院大學院友会

理事 渡邊正博

迎 春

となみ野を便利に結ぶ...



チューリップ交通株

本 社 八 丁 〇 六 九 〇 六 九 〇 六 九 〇 七
貸 金 部 八 丁 八 二 八 八 旅 行 部 八 丁 二 二 一
〇 〇 一 二 〇 一 一 六 九 五 〇 七

著暖 エコキョウト 販売・施工

(有)森田電気商会

南砺市高瀬五七三
TEL(〇七六三)八二一〇六九一

神社仏閣建築設計施工
創業文政年間

森田建設株式会社

代表取締役 森田市五郎

小矢部市鷺島一七五
TEL(〇七六六)六七一〇〇六九

青果・食材
フルーツギフト

中 村 屋

南砺市山見四四二一
TEL(〇七六三)八二一〇〇三五

あなたの街のでんきやさん

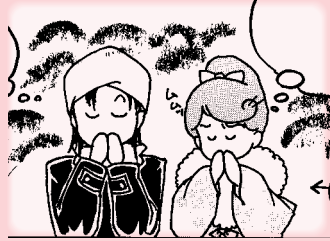
ニューイングランドたかた

南砺市山下(井波行政センター前)
TEL(〇七六三)八二一〇二二七

ブライダル情報

高瀬神社で結婚式を挙げられた方々は、安産祈願や初宮・七五三といったお子様のお参りや、交通安全や厄払など、色々な意味でつながり(むすび)を大切にして頂いております。もちろん、ご先祖様から代々の御付き合いと言っておく下さる方も大勢おられます。

結婚する事は神々の働きである「むすび・産霊」の発現を意味し、生まれた子供を「むすこ・むすめ」と言うのも「むすび・産霊」から由来するよう、人々にとってかけがえのない大切な「むすび」を若い世代にも解りやすくマンガ冊子にまとめてみました。



ストーリーは、ボーイフレンドと初詣に来て、新春フェアを見てゴールイン：と言ったものです。婚礼パンプレットと一緒にご覧下さい。

原画は山森啓子さん(南砺市)にご協力頂きました。ありがとうございます。

ご結婚おめでとうございます

本年六月から十一月まで御婚礼の御儀を執り行われた皆様です。(挙式日、時間順)

(六月)

長田 仁志様

澤山 雅美様

野原 哲明様

松澤 絵里様

生田 達也様

三島 祐子様

水口 真希様

金井 亮介様

河合 真美子様

海木 秀治様

齊藤 俊夫様

府録 陽子様

藤井 倫子様

藤井 和美様

羽生 博文様

真知子様

(九月)

石黒 裕崇様

川岸 理恵子様

山田 勝利様

松井 千春様

浅名 悠介様

黒川 奈美様

山道 章哲様

長谷 陽子様

中嶋 一郎様

長谷 陽子様

山道 千恵子様

山道 岩男様

山道 千恵子様

山道 千恵子様

山道 千恵子様

山道 千恵子様

山道 千恵子様

二十日 柴田 哲也様

二十七日 但田 ひとみ様

二十七日 長橋 明洋様

二十七日 長橋 妙子様

二十七日 長橋 孝博様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

二十七日 長橋 夏恵様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々の御繁栄をお祈り申し上げます。

御案内

節分祭

二月三日 午後三時齋行

ご家族お揃いで
ご参列下さい。

元服祝 (男子)

十五歳 (平成六年生)

元服とは、一人前の男として重要な責任と義務を負い、社会の仲間入りを果たす年齢を意味します。強い身体と精神力を持った「益荒男」として雄々しく男らしく成長してほしいと祈る人生儀礼です。

髪上祝 (女子)

十三歳 (平成八年生)

髪上とは、古来より神社へ詣で初めて「かんざし」を髪にあてる儀式を行っておりました。

平成20年 厄年

本年は次の通りです。

(男性)

- 25歳 前厄 (昭和60年生)
- 本厄 (昭和59年生)
- 後厄 (昭和58年生)
- 42歳 前厄 (昭和43年生)
- 本厄 (昭和42年生)
- 後厄 (昭和41年生)

(女性)

- 19歳 前厄 (平成3年生)
- 本厄 (平成2年生)
- 後厄 (昭和64年生)
- (平成元年)
- 33歳 前厄 (昭和52年生)
- 本厄 (昭和51年生)
- 後厄 (昭和50年生)
- 37歳 前厄 (昭和48年生)
- 本厄 (昭和47年生)
- 後厄 (昭和46年生)

戌の日 (安産祈願)

- 1月11日・23日
- 2月4日・16日・28日
- 3月11日・23日
- 4月4日・16日・28日
- 5月10日・22日
- 6月3日・15日・27日
- 7月9日・21日
- 8月2日・14日・26日
- 9月7日・19日
- 10月1日・13日・25日
- 11月6日・18日・30日
- 12月12日・24日

「大和撫子」と日本女性を称えてきた言葉が示すように、心清らかで勇氣・機転・情愛を持ちあわせた大人の女性に成長してほしいと祈る人生儀礼です。

奉納

○菫

小矢部市水島

出村 孝之

平成十九年十月二十五日

○菊花鉢

砺波市庄川町青島

島田 洋一

平成十九年十一月一日

○菊花鉢

南砺市北市

橋場 哲也

平成十九年十一月一日

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

平成二十年の初春を迎え、氏子・崇敬者の皆様には、高瀬の大神様のご加護をよりいっそう戴かれまして、病気災難怪我あやまちもなく、益々お元気にお過ごし下さいますようご祈念申し上げます。

【表紙写真】

高岡市内を走行する

「こころほんわか幸せ電車」



越中一宮 高瀬神社 和装体験フェア

予約優先

1月27日(日) AM10:00~PM5:00

AM10:00~ 神前式説明会 PM 2:00~ 模擬結婚式

婚礼商品展示・お見積相談 和装試着・カツラあわせ など

～豪華!ご成約特典～
フェア開催日にご成約の方…

“縁結びぜんざい”サービス
どうぞお気軽にお越し下さい



1月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

1月1日(祝) 0時~3時・9時~17時
新春ブライダルフェア
ウェディングドレス試着会など

1月27日(日) 10時~17時
和装体験フェア
模擬結婚式(14時)

2月9日(土)・10日(日)・11日(月)
9時~16時
衣裳展示会、会場見学会
神前式説明会及び御婚礼相談会

3月15日(土)・16日(日) 9時~16時
会場見学会、
神前式説明会及び御婚礼相談会

4月12日(土)・13日(日) 9時~16時
衣裳展示会、会場見学会
神前式説明会及び御婚礼相談会

3月

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

発行日 平成二十年二月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒933-0025 富山県南砺市高瀬二九一

TEL 〇七六三三八二〇九三三 FAX 〇七六三三八二三〇四

編集人 浦 泰 宏

印刷所 牧印刷株式会社

印刷所 牧印刷株式会社